



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月2日

上場会社名 株式会社ヨンキョウ 上場取引所 東
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,102	△11.0	1,050	△6.6	1,250	△2.9	648	△19.0
2020年3月期第2四半期	19,205	0.4	1,125	△0.7	1,287	△0.4	800	△11.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,361百万円 (70.7%) 2020年3月期第2四半期 797百万円 (△14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	53.21	—
2020年3月期第2四半期	69.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	36,676	28,454	77.6	2,333.50
2020年3月期	34,932	27,213	77.9	2,234.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 28,452百万円 2020年3月期 27,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,461	0.0	1,405	0.0	1,673	0.0	694	0.0	56.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	12,228,029株	2020年3月期	12,211,526株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	34,937株	2020年3月期	34,887株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	12,183,463株	2020年3月期2Q	11,565,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日本政府による緊急事態宣言が発令され、全国的に外出や移動の自粛、店舗の休業要請等が行われたことで経済活動が停滞いたしました。また、同宣言解除後、経済活動は緩やかに再開されておりますが、未だ収束の目途は立たず先行き不透明な状況が続いております。

当養殖業界におきましても、外食産業の不振などで一時は鮮魚の取扱量が減少いたしました。生産者支援の取り組みや各産地の養殖魚の拡販を全国に推進し、消費拡大を図ってまいりました。

その結果、当社グループの「鮮魚の販売事業」は、タイの販売数量は増加したものの、タイ・ハマチなどの魚価低下とカンパチの販売数量が大幅に減少したことにより減収となりました。また、「餌料・飼料の販売事業」では、生餌の販売数量は増加したものの、配合飼料等の販売数量が落ち込み減収となりました。

利益面では、タイなどの出荷が停滞したことで新たな稚魚池入れ（販売）が出来なかったことに加え、2020年7月6日の集中豪雨（令和2年7月豪雨）により、ダムからの放流と7月6日の明け方から鹿児島県内で発生した線状降水帯の影響による集中豪雨が相まって串良川が氾濫し、株式会社西日本養鰻第二事業所において、養鰻場内への浸水及び長時間の停電が発生し、養殖中のウナギが一部斃死する事態となり、その被害額3億2700万円を特別損失（災害による損失）として計上したことなどにより減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は171億2000万円（前年同期比11.0%減）、営業利益は10億5000万円（前年同期比6.6%減）、経常利益は12億5000万円（前年同期比2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億4800万円（前年同期比19.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	2020年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	2021年3月期 第2四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	11,721	10,185	△1,536	△13.1
餌料・飼料の販売事業	7,465	6,906	△558	△7.5
その他の事業	18	9	△8	△45.4
合計	19,205	17,102	△2,103	△11.0

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は262億9600万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5400万円（3.0%）増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加（10億2500万円）、受取手形及び売掛金の増加（6億9000万円）、仕掛品の減少（6億5100万円）等によるものであります。

固定資産合計は103億7900万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8900万円（10.5%）増加いたしました。これは主に投資その他の資産の投資有価証券の増加（11億3400万円）によるものであります。

この結果、資産合計は366億7600万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4300万円（5.0%）増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は63億6000万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6200万円（9.7%）増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加（5億2000万円）等によるものであります。

固定負債合計は18億6000万円となり、前連結会計年度末に比べ6000万円（3.1%）減少いたしました。

この結果、負債合計は82億2100万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2000万円（6.5%）増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は284億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億41百万円(4.6%)増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加(7億12百万円)、利益剰余金の増加(5億2百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.6%(前連結会計年度末は77.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により先行きが不透明な状況が続く中で、適正かつ合理的な算定が困難な状況であることから、2020年5月12日付の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想は据え置くことといたします。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,413,035	16,439,003
受取手形及び売掛金	6,896,646	7,506,644
商品及び製品	666,500	478,612
仕掛品	3,083,968	2,432,130
原材料及び貯蔵品	27,816	28,257
短期貸付金	375,604	197,748
その他	92,840	113,997
貸倒引当金	△1,013,446	△899,422
流動資産合計	25,542,966	26,296,971
固定資産		
有形固定資産	4,103,479	4,021,199
無形固定資産	179,936	159,549
投資その他の資産		
投資有価証券	4,396,144	5,530,394
その他	1,387,490	1,347,592
貸倒引当金	△677,369	△679,599
投資その他の資産合計	5,106,265	6,198,386
固定資産合計	9,389,681	10,379,134
資産合計	34,932,647	36,676,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,371,947	2,892,282
短期借入金	2,472,500	2,472,500
未払法人税等	382,065	378,322
賞与引当金	23,336	26,964
その他	548,914	590,779
流動負債合計	5,798,763	6,360,848
固定負債		
長期借入金	1,416,875	1,230,625
役員退職慰労引当金	191,867	206,702
退職給付に係る負債	269,049	276,995
資産除去債務	35,337	35,558
繰延税金負債	7,460	110,635
固定負債合計	1,920,589	1,860,516
負債合計	7,719,353	8,221,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,702,945	2,716,221
資本剰余金	3,639,674	3,652,951
利益剰余金	20,719,352	21,221,563
自己株式	△18,626	△18,705
株主資本合計	27,043,345	27,572,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,825	880,529
その他の包括利益累計額合計	167,825	880,529
非支配株主持分	2,123	2,179
純資産合計	27,213,294	28,454,740
負債純資産合計	34,932,647	36,676,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,205,647	17,102,335
売上原価	16,360,408	14,244,858
売上総利益	2,845,239	2,857,476
販売費及び一般管理費	1,719,692	1,806,613
営業利益	1,125,546	1,050,863
営業外収益		
受取利息	39,949	54,390
受取配当金	85,125	91,943
投資不動産賃貸料	16,684	14,115
持分法による投資利益	11,026	22,964
その他	23,890	28,011
営業外収益合計	176,676	211,425
営業外費用		
支払利息	2,962	2,625
投資不動産賃貸費用	8,359	8,013
その他	3,618	1,582
営業外費用合計	14,940	12,221
経常利益	1,287,282	1,250,068
特別損失		
減損損失	—	9,609
災害による損失	—	345,915
特別損失合計	—	355,525
税金等調整前四半期純利益	1,287,282	894,542
法人税、住民税及び事業税	462,244	364,138
法人税等調整額	24,250	△117,941
法人税等合計	486,494	246,196
四半期純利益	800,788	648,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	211	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	800,576	648,330

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	800,788	648,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,675	712,632
持分法適用会社に対する持分相当額	△590	113
その他の包括利益合計	△3,265	712,745
四半期包括利益	797,522	1,361,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,310	1,361,034
非支配株主に係る四半期包括利益	211	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大による外食産業等の不振により、鮮魚の取扱量減少や魚価低下等から、当社グループの事業活動に影響を及ぼしております。また、未だ収束時期が見通せない状況にあり、今後も当社の業績に影響を及ぼすことが想定され、会計上の見積りを行う上で、将来キャッシュ・フローの予測を行うことが極めて困難な状況となっております。

そのため、四半期連結財務諸表の作成に当たっては、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した2020年6月で収束し、徐々に回復するという一定の仮定及び入手可能な情報に基づき、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損損失の判定等の会計上の見積りを行っております。